

はじめに

「子ども・子育てビジョン」(平成 22 年 1 月閣議決定)に基づき「子ども・子育てビジョン」の各種施策についての点検・評価を実施するため、調査研究を行った。

本調査・研究の実施にあたり、有識者による研究会を設置し、具体的な調査手法、項目、分析について検討を行った。ご協力いただいた有識者及び研究会の開催実績については下記の通り(五十音順、敬称略)。

研究会メンバー

- | | |
|--------|----------------------|
| ・坂本和靖 | 慶應義塾大学特任准教授 |
| ・永瀬伸子 | お茶の水女子大学大学院教授 |
| ・長町理恵子 | 日本経済研究センター大阪支所副主任研究員 |
| ・松田茂樹 | 第一生命経済研究所 主席研究員 |

開催実績

- ・第 1 回 平成 24 年 9 月 4 日(火) 調査全体の目的、調査票の検討について
- ・第 2 回 平成 24 年 11 月 16 日(金) 調査結果、分析方針について
- ・第 3 回 平成 25 年 2 月 4 日(月) 報告書案について

なお、本調査は、子どもを持つ親のみを対象とするのではなく、子どもの有無にかかわらず 59 歳までと幅広い層を対象として調査を実施しており、調査対象地域については全国としている。したがって、本調査は、子育てに関わる各種施策の利用者のみを対象としているのではなく、国民全体の属性の構成比を反映した対象者を想定して調査を実施したものである。

本調査結果は、「社会全体で子育てを支える」と「希望」がかなえられる」との基本的な考え方を基に、「子どもの育ちを支え、若者が安心して成長できる社会」「妊娠、出産、子育ての希望が実現できる社会」「多様なネットワークで子育て力のある地域社会」「男性も女性も仕事と生活が調和する社会」の政策 4 本柱の傾向の差異等を把握することにより、課題を明らかにするための基礎資料とするものである。